【『理科系の論文作法』正誤表】

『練習問題』の部分に下記の通り表現の修正があります。 左側の表現を右側の表現に修正して下さい。 訂正して深くお詫び申し上げます。

●練習問題（p．81） III 1-3．(2)

『惑星軌道の規則』 → 『惑星運動の規則性』

『このように，天体の』→ 『この天体の』

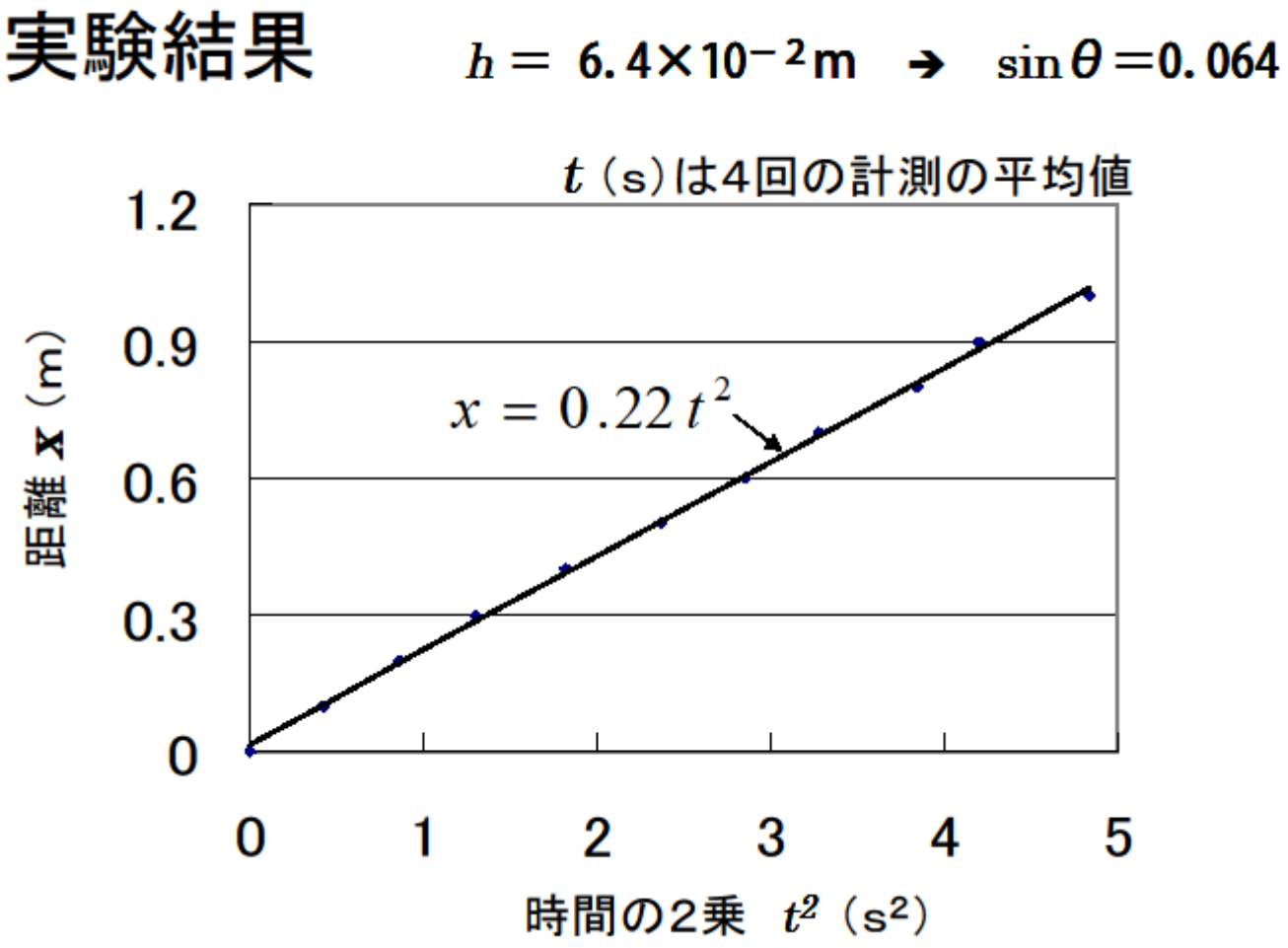
『発見されることがばしばある』→ 『発見されたのである』

●練習問題（p．91） III 2-1．(1)

２行目の『シアター』→『ミュージアム』

また、編集工程での不手際により、p.164：図 5.7(b)と p.165：図 5.8(a)に別のページに掲載の図版が 入ってしまいました。深くお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させて頂きます。

●p.164：図 5.7(b)の正しい図



●p.165：図 5.8(a)の正しい図

考察

図の直線の傾きは0．22。よって②式より、

$$a = 0.22 \times 2 = 0.44 (m/s^2) \quad \cdots ③$$

重力の効果は、併進と回転の両方に使われ、
併進への影響は 5/7 倍だから、理論値は

$$a = g \sin\theta \times 5/7 = 0.45 (m/s^2) \quad \cdots ④$$

（ 但し、$g = 9.8 (m/s^2)$、$\sin\theta = 6.4cm/1m$ ）

・ 実験結果は理論値にほぼ一致した。
ガリレイの立てた①式の仮定は正しい